



月 日 時頃に伺いました。

変化とともに歩むまちづくり

TT通信

2025 第13号

三豊市議会議員 田中たつやの活動報告

発行責任者 田中達也
香川県三豊市詫間町詫間 3905-3



商工会青年部時代の同志 みやくぼ大作君と
中小・小規模事業者の未来について語り合いました。
小規模事業者の活気は地域の活気！

いつも TT 通信をご覧いただき、ありがとうございます。

さて、今回からキャッチコピーが変わっていることにお気づきでしょうか。

人口減少や物価高騰など、社会や経済の変化が加速する中で、日々新たな課題が生まれています。地方自治体はこの変化に適応しなければ生き残っていきません。そのためにデジタル技術を積極的に活用する必要がありました。しかし、それだけにとどまらず、もっと広い視点で変化に適応するまちづくりが必要であることから、新たに「変化とともに歩むまちづくり」を掲げることとしました。

2 期目の任期が終わろうとする中で、改めて自身の考えを整理し、市政に向き合う所存です。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

詳細は中面をご覧ください

ここが気になる！

- ① 造船所跡地はどうか？
- ② 小中学校で導入
国際バカロレア教育とは？
- ③ みとよ市民病院の現状

考えてみよう

- ① 相続放棄と空き家問題

提案が採用されました

- ① 三豊市武道館（詫間）の休館日廃止
- ② 集落支援員制度の活用
- ③ 議会で主権者教育の取り組み始まる



参議院選挙を知ろう

7月に参議院議員選挙があります。今回は「全国比例」について説明します。

全国比例では、2枚目の投票用紙に「政党名」または「候補者名」を書きます。政党ごとの得票数で議席数が決まり、どの候補者が当選するかは「個人の得票数」で決まります。これを「非拘束名簿式」といいます。



例えば「○○○」と候補者名を書けば、△△党の票にもなり、○○○候補の党内順位も上がりまします。一方「△△党」と政党名だけ書くと、党の票の順位は変わらず、特定の候補者を当選させることは難しくなります。

比例代表制の特徴を理解し、投票の際に自分の意見を反映させることが重要です。

選挙は民主主義の根幹であり、あなたの一票が未来を形作る力を持っています。ぜひ、積極的に参加しましょう。



ここが気になる！

造船所跡地はどうなる？

多目的広場として整備中です。図の通り 80 台程度の駐車場に加え、バスケットボールコート（フルコート×1、ハーフコート×1）、土広場、芝生広場を整備する予定です。令和8年2月までの工期で、令和8年度から供用開始予定です。

予算額は、

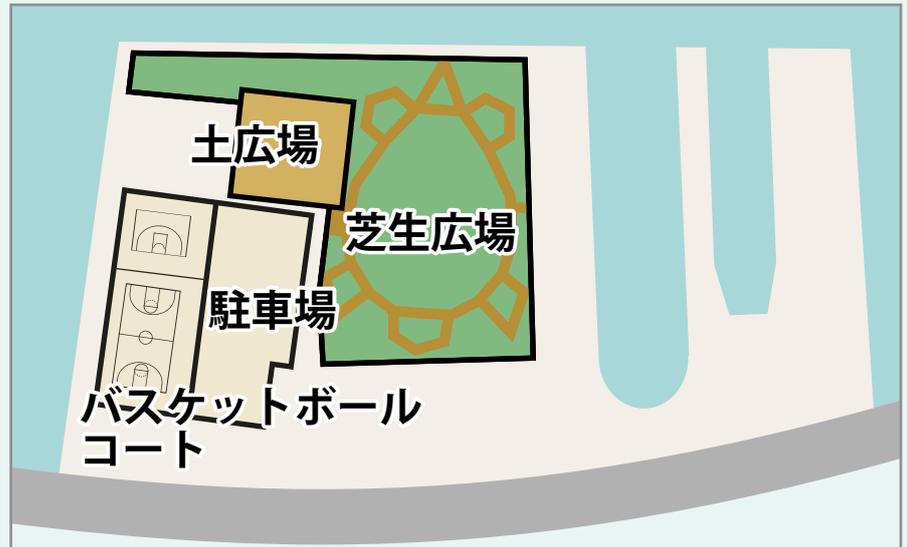
令和6年度 1億7,211万円

令和7年度 1億8,154万円

合計 3億5,365万円

とされています。

今回の計画の中に、公衆トイレの設置が含まれていないことについて、既にご多くのご意見をいただいております。私達も計画の段階から問題点として指摘しており、引き続き安心して使っていただけるよう働きかけてまいります。



詫間小・中学校で取り組む「国際バカロレア教育」とは？

国際バカロレア（IB）教育は、世界中で認められている教育プログラムで、探究心や批判的思考を育てることを重視します。小中学生向けには「PYP（初等教育プログラム）」と「MYP（中等教育プログラム）」があり、幅広い科目を学びながら、国際的な視野を養います。IB教育は、子どもたちが自分で考え、問題解決能力を身につけることを目指しており、将来の大学進学やキャリアに役立つスキルを育てます。

PYPでは、子どもたちが自分の興味や関心に基づいて学びを進めることが奨励され、探究型学習を通じて知識を深めます。MYPでは、より高度な批判的思考や分析力を養い、グローバルな課題に対する理解を深めます。IB教育は、学問的な成績だけでなく、社会的・感情的な成長も重視し、バランスの取れた教育を提供します。

三豊市では、まず詫間小学校と詫間中学校が導入し、認定校を目指して取り組んでいます。詫間小学校は「候補校」に認められており、県内の小学校としては初めてです。

先日、詫間中学校を訪問し、取り組みの様子を見せていただきましたが、生徒の積極的に取り組む様子や、忙しい中でも高いモチベーションで臨んでいる教職員の皆さまのお話から、進めていくべきものと評価しました。



みとよ市民病院の現状

皆様から多くのご意見をいただいております、みとよ市民病院の現状についてお知らせいたします。

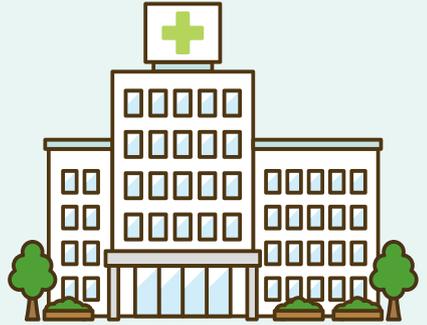
3月議会中の教育民生常任委員会に提出された「令和6年度資金収支見込み」によると、1年間の事業収益から事業費用を差し引いた事業損益は、約3億6000万円の赤字となっています。令和6年度3月時点での資金不足を補うため、3月補正予算で、市から病院へ2億3000万円の長期貸付が可決されました。

※この議案に対する教育民生常任委員会の審査において、経営の健全化に向けた取組を条件とする附帯決議が附されています。附帯案には私も関わっており賛成ですが、委員会で全員賛成であったものが、諸事情により本会議には提出されなかったことで、私を含む委員外議員に意思を表す機会はありませんでした。本会議でも取り扱うべきだったと考えます。

これにより、市から病院への貸付総額は7億8600万円となりました。市立病院には総務省が定める基準に基づき市から繰出金が支払われています。令和6年度予算ではみとよ市民病院に対する繰出金約5億6000万円が計上されていますが、それでも資金が不足したため、市から3回目の貸付をしたものです。

貸付金が返済される見込みはほとんどなく、事実上の基準外繰出金と言えるでしょう。公立病院として、救急医療や精神科医療など地域に必要な医療提供を行う必要があることは理解していますが、いつまでも不足分を貸付で補うことは認められません。市として繰出の許容範囲を明確に示す必要があると考えます。

さらに、救急受け入れや地域の医療機関からの患者紹介を断るなど、自治体病院としてあるまじき状況を早急に改善し、繰出金を出す価値のある病院運営にすることが求められます。これだけのことをしているから、これだけの費用がかかるのだと、はっきりと説明できるようにしてほしいものです。



考えてみよう

相続放棄と空き家問題

相続放棄が増加すると、相続人の手を離れた住宅が空き家として残り、地域社会にも深刻な影響が及びます。

例えば、隣の住宅が相続放棄されたら、どんなことが起こるでしょうか。

1. 相続放棄された住宅は、管理されないまま放置され、樹木や雑草の越境や、老朽化による倒壊などのリスクが生じます。
2. 道路に向かって倒壊すれば、道路管理者である市や県が対応しますが、自宅に向かって倒れてきたら、自分で対応するしかありません。
3. 倒壊しそうな空き家に持ち主がいれば、解体補助金の制度が使えますが、相続放棄された物件が

自宅に向かって倒れてきても、使える補助金はありません。

これらは氷山の一角です。地価が高い地域であれば、更地の売却額で補填できるため、不動産業者や自治体が介入して整備することがありますが、多くの場合、そうはいきません。三豊市だけで対処できる問題ではないことから、法改正を含めた国の対応を求めるべきであると、12月議会の一般質問で取り上げました。皆さまも近隣の空家状況とあわせてご一考ください。





提案が採用されました

三豊市武道館の休館日廃止

詫間小学校横の武道館は、これまで水曜日が休館日でした。「隣の体育センターは同じ管理人で休館日がないのになぜ？」と市民から要望がありましたので、スポーツ振興課に掛け合ったところ、今年度から水曜日も使えるようになりました。

集落支援員制度の活用

令和8年度から、旧町ごとに2名の集落支援員を配置する方針が示されました。これは、議員10名で組織するまちづくり勉強会が総務省から情報を得て、市に提案したものです。

集落支援員は、地域の巡回や状況把握を行い、課題解決に向けた活動を、市職員やまちづくり団体と連携しながら行います。これにかかる人件費や活動費用は、すべて国からの特別交付税でまかなわれます。

地域の活性化や住民の生活支援が一層進むことが期待されます。

議会による主権者教育はじまる

市議会による若者のための主権者教育が始まりました。昨年12月には高校生が議会を見学し、今年3月からは中学生の議会傍聴がスタートしています。これにより、若者たちは議会の仕組みや市政について学ぶことができました。

さらに、今年は市内の高校生と議員が意見を交換する会を予定しています。この会では、若者たちが自分の意見を直接議員に伝えることができます。この取り組みを通じて、若い世代が市政にもっと関心を持ち、積極的に参加することを目指しています。

活動報告

議会でこんなこと質問しました

詳しい内容は映像配信や議会広報をご覧ください。

令和6年12月
本会議 一般質問

- ① 相続放棄物件による課題を解消せよ
- ② 情報発信ツールの活用について

▶ 動画で見る



令和7年3月
本会議 一般質問

- ① MitoPay に世帯情報紐付けによるサービス向上を
- ② 小中学校の校則見直しの必要性
- ③ 教室の温度管理の適正化を
- ④ 部活動地域移行の送迎負担軽減策
- ⑤ 不登校支援団体との連携強化

▶ 動画で見る



● 質問・感想・相談は下記までお問い合わせください ●

田中たつや事務所

三豊市詫間町詫間 3913-1
TEL 090-1004-4745

公式 Webサイト

<https://tt.mitoyoshi.com>
Email tt@mitoyoshi.com



公式サイト



後援会入会



TT 通信申込